

神戸市体育協会中期経営計画(概要)

平成23年度～25年度

経営理念
子どもから高齢者、障がいのある方、トップアスリートまで全ての市民が、スポーツに親しみ、健康づくりができるまち「神戸」の実現に努める

目標
1. 神戸市民(成人)の日常的なスポーツ実施率を60%以上にする
2. 神戸市体育協会関連事業の参加者200万人を目標に、参加者の増加を図る
3. 公益財団法人への移行を速やかに行う

全体の取り組み
・コーポレートガバナンス(コンプライアンス等)
・PDCAサイクルによる目標の検証
・ディスクロージャー(情報公開)の実施
・環境に配慮した経営
・地域や学校に対する支援の調査研究

市民参加型スポーツ大会・イベントの開催
市民体育大会
総合体育大会
六甲シティマラソン大会
(旧神戸シティマラソン大会)
スポーツフェスティバル
ウインターフェスティバル等

国際級・全国級スポーツイベントの誘致・開催
アジア陸上選手権大会
荻村杯国際卓球大会
全国レディースバトミントン大会等

神戸マラソン大会
市街地コース
参加者2万人

スポーツリーダー認定制度
目標 500人の達成

トップアスリートによるジュニア育成
ヴィッセル神戸、兵庫スイングスマイリーズなど

体育・社会教育施設の運営
利用者満足度90%以上
利用者数 180万人の維持
王子SC、中央体育館、東灘体育館、須磨体育館、垂水体育館、ポートアイランドスポーツセンター、ポートアイランドホール、自然の家、生涯学習支援センター

学校給食事業
・安全で安心な給食物資の提供
・地産地消の推進
・食育の推進